

2010年4月30日

報道関係者各位

株式会社電算システム
(東証二部/名証二部:3630)**来店カウント分析システム「StoreEye(ストア・アイ)」販売開始**

- 小売店舗向けシステムをラインナップ・営業を強化 -

株式会社電算システム(本社:岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員:宮地正直、東証二部、名証二部:3630、以下DSK)は、高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:戸田秀雄、東証一部:2676)と提携、同社サーモセンサーを利用、ショッピングセンター等小売店舗、各種会場施設向けに来店顧客数、来場者数を計測しマーケティング分析するシステム「StoreEye(ストア・アイ)」の販売を開始いたします。

従来、ショッピングセンター及び大型スーパー等の小売店舗では、POSデータを利用した来店顧客数、マーケティング分析は行われていましたが、POSデータや売上実績だけの分析では、例えば来店数に対しどの位のお客様が商品を購入されたかが把握できませんでした。

今回販売を開始する「StoreEye(ストア・アイ)」は小売店舗における「見える化」を支援するシステムで、来店顧客数を時間帯別に把握でき、広告宣伝やイベント実施による販促の効果測定が可能になります。またPOSデータや売上実績、勤務シフトデータ等と相関分析することで、効果的な店舗運営を支援します。

なお、「StoreEye(ストア・アイ)」は2010年3月より大型ショッピングモールを第一号ユーザとして導入し、既の実稼働しております。

【「StoreEye(ストア・アイ)」製品概要】**システム概要**

店舗の出入口や通路にサーモセンサーを設置、5分毎にセンサーが感知(認識)したデータをサーバに集計、ブラウザ上で日別・時間帯別等で入退場者数や店舗内滞留人数等各種データ、分析結果を閲覧できます。

システムの特徴

- ・ サーモセンサーによる計測によって照度変化の影響を受けない為、カウントの精度が向上します。
- ・ 時間帯別・日別・曜日別・期間で来店・退店・滞留人数などが把握できます。
- ・ 天気、気温の変化による来店者数の変化を把握できます。
- ・ イベント、広告などによる販促効果を把握できます。
- ・ POSデータ、勤務シフトデータと連携し相関分析が可能です。

期待される導入効果

時間帯別に店内での顧客数が把握でき、来店客数と商品購入の顧客、又店舗スタッフのソフト勤務データと相関分析することで、販促戦略等に活用し、店舗運営の効率化を図ることが可能になります。

価格

見積り参考例：センサー 1 台 + 分析ソフト 約 100 万円

センサー数、分析ソフトの種類、工事内容によります。

電算システムでは「StoreEye(ストア・アイ)」販売開始に伴い、顧客データ管理システム、商品在庫管理システムを新たに商品化、小売店舗向け「見える化」システムを「RetailEye(リテール・アイ)」シリーズとして製品ラインナップ、販売強化を図る方針です。

「RetailEye(リテール・アイ)」シリーズ「StoreEye(ストア・アイ)」以外の製品は、以下のとおりです。

【SalesEye(セールス・アイ)】

見込客をより多く常連客化することをお手伝いするシステムです。メール会員にプロモーションメールや来店特典つきメールを送り、来店を誘導したりアンケートから顧客の声を収集・分析することができます。顧客の声を直に聞き、更なるサービス向上と売上増進を目指すお客さまに最適です。

【StockEye(ストック・アイ)】

荷主と倉庫、営業拠点と物品管理部門間における物品の入出庫手配から入出庫処理まで、物流業務をトータルサポートするWebシステムです。SaaS(ASPサービス)提供により、コストを抑え、タイムリーなシステム導入・運用も可能です。

電算システムについて

電算システムは1967年に岐阜県で創業して以来、独立系総合型情報処理サービス事業として、情報処理サービス事業と収納代行サービス事業の2つの分野で事業を展開しています。

情報サービス事業はさらに、メインフレームからクライアントサーバ、ウェブ技術に至る各種のプラットフォームにおける運用・管理等のノウハウを生かした情報処理サービス、

システム開発受託及び技術者派遣並びに大学等との共同IT研究及びその成果物としてのソフトウェアプロダクト商品の開発を行うシステムソリューション、システム機器・OA機器をベースとしたシステム開発を行うシステムインテグレーション(SI)、システム機器・OA機器・サプライ用品等の商品販売の4つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、平成9年1月に業界で初のコンビニ収納代行サービスを開始するなど、民間企業が行う収納代行サービスのパイオニアとして事業を展開しております。

詳細については電算システムのホームページ(<http://www.densan-s.co.jp/>)をご覧ください。

問い合わせ先

<本リリースに関する報道関係者様からのお問合せ先>

株式会社電算システム

業務企画室 渡邊利恵

電話：03-3206-1860

E-mail: rie_watanabe@densan-s.co.jp

<製品・サービスに関するお問合せ先>

株式会社電算システム

事業開発推進室 担当：飯田、古野(コノ)

電話：03-3206-1785

E-mail: store-eye@densan-s.co.jp